

「生物基礎」の授業に関するいろいろ

・授業の開始と終了は必ず定刻で

着席のまま「語先後礼」；教室の時計の秒針基準で。起立等は階下のクラスには煩いことと、スムーズに授業に入る上で不要。授業者が遅れた場合は、定刻で授業を開始する（やることは事前に伝えられているので）

・50分の授業の基本的な流れ

最初にこの授業の目的や価値について伝える。前回の振り返りなど、確認の上、学習活動を開始する。一般的な授業では、ここままで最大5分。学習活動は原則40分。最後の5分でこの時間の振り返りを行う。「5分ー40分ー5分」が基本。

・授業時に使うもの

教科書、図説、筆記用具、配布プリント、プリントを保管するフォルダ
ノート（自分の理解や考えを書き出す・表現するもの）；必要に応じて

・提出するもの

授業活動の記録（振り返りシート）；授業終了時に提出し、スキャナーで読み取ったら、即返却する。疑問と謎などについては、次の授業までにその回答を配布する
単元活動の記録（振り返りシート）；単元振り返りの時間に記入し、提出する

・単元終了時の達成度調査

単元の学習理解状況を確認する。

個人の授業への取り組み、集団の（協働的な）学習への振り返りの検討材料とする

.....

・学年（科目）への5段階評定；社会的にはあまり意味をなさない

学年末試験の結果から10段階評定を算出し、それを5段階評定に自動的に変換する
指導要録（学業成績の記録は卒業後5年間保管する公文書）に記載する

・学期の10段階評定；個人的には必要性を感じない

単元単位の達成度調査から算出するが、記録には残らない

学期ごとの通知表には記載されるが、保管はされない

・定期試験

学年末試験のみ全範囲・全記述で。第1学期・第2学期の各中間試験と期末試験は実施しない

.....

・何のために授業を受けるのか（何のために学校に行くのか）

○一生涯、学び続けることが求められる時代を生きる上で必要な「学び方」を試行錯誤の中で身につけていく（学び方を学ぶ）

○多様な人たちと協働して活動することができるようになる

▶幸せに生きる・自由に生きる上で必要なことを身につけて社会に出ていく